

「情報セキュリティ基本方針」

セレスは、「価値の開花、未来豊穡」をミッションに掲げ、デジタル経済を牽引する企業の責務として、情報資産の保護とプライバシーの尊重を経営の最優先事項とし、お客様の信頼に応える強固な情報セキュリティ体制を構築し、安全なデジタル社会の発展に寄与する。

適用範囲

本方針は、当社の役員、従業員、および当社の情報資産を利用するすべての者に適用する。

法令・契約の遵守

情報セキュリティに関する法令、規制、国が定める指針、およびお客様との契約上のセキュリティ義務を厳格に遵守する。また、個人情報の取扱いについては、別途定めている「個人情報保護方針」に基づき、個人の権利利益を最大限に尊重した管理を行う。

情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の確立

国際基準（ISO/IEC 27001）に準拠した情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）を確立し、情報資産の機密性・完全性・可用性を確実に維持する。

- ・機密性：許可された者だけが情報にアクセスできる仕組みを構築する。
- ・完全性：情報の改ざんや破壊を防止し、正確さを維持する。
- ・可用性：必要な時に必要な情報へ安全にアクセスできる環境を維持する。

情報資産に対する脅威と脆弱性を分析・評価する体系的な基準を確立し、定期的なリスクアセスメントに基づく適切な対策を講じる。

AI ガバナンスと倫理的利用

AI（人工知能）等の先端技術の活用にあたっては、利便性を追求する一方で、「公平性」「透明性」「安全性」を重視したガバナンス体制を構築する。アルゴリズムによる不当な差別や偏見を排除し、AIが生成・処理する情報の正確性と客観性を担保することで、ユーザーが安心できるデジタルインフラを維持する。

サイバー・レジリエンスの確保

高度な監視体制を運用し、サイバー攻撃等の脅威を迅速に検知する。サイバー攻撃や不正アクセス等のインシデント発生時には迅速な原因究明と関係各所への報告・対応を行うとともに、被害を最小限に留め、情報システムおよびデータの迅速な復旧を図る。

監査と継続的改善

ISMSの遵守状況および情報資産の取扱いについて、定期的に点検および監査を実施する。発見された不備や改善項目については速やかに是正措置を講じるとともに、技術変化や社会情勢、および事業ポートフォリオの変動に合わせ、情報セキュリティマネジメントシステムを定期的に見直し、継続的改善を図る。

リテラシー向上と組織文化の醸成

すべての対象者に対し、定期的な教育と訓練を実施する。一人ひとりが「情報の守り手」とであるという自覚を持ち、高い倫理観に基づいて情報を取り扱う組織文化を醸成する。

安全なデジタルインフラとしての価値確立

本セキュリティ管理体制を、組織の競争優位性である「知的資本」と捉え、高度な情報保護体制を基盤に、安全なデジタルインフラとしての価値を提供し、社会の「未来豊穡」に向けた新たな価値創出を牽引する。